

2002年2月1日

日本テニスウエルネス協会
会員の皆様へ

JTWA事務局長

(はじめに)

当協会は1999年4月に発足、2002年で第四年度を迎えました。2001年はNPO法人への新たな制度導入(10月1日発効 - 認定NPO法人制度)があり、協会はこれまでの活動実績が認められ、全国で第一号の認定団体となることができました。このことは協会として、大変に荣誉あることですが、同時に従来迄の事業活動や管理運営に対して幾つか重要な事柄を含んでいます。この年次報告では今後の協会活動や組織運営に関連する将来的な課題等を含め、第四年度(2002年1月～12月)の全体報告と新年度の事業計画について、以下ご報告します。

(目次)

- 1) 第4年度協会活動の全体報告
 - (1) 活動全般について
 - (2) 正会員、支援団体・個人(賛助会員、寄付金)
 - (3) 主な事業活動について
- 2) 第5年度(2003年)の事業計画について
 - (1) 会員数の拡大、ホームページ活用と広報
 - (2) 各支部事業と新たな事業の企画について
 - (3) 認定NPO法人としての組織運営の強化
 - (4) 第5年度(2003年)の事業予算書
- 3) 資料
 - (1) 第4年度(2002年) 事業活動表 - 別表-1
 - (2) 第5年度(2003年) 事業計画表 - 別表-2
 - (3) 第5年度(2003年) 予算計画表
 - (4) 会員名簿(正会員、賛助会員)
 - (5) 国税庁長官からの認定NPO法人の正式認定書

通常総会の開催について

- ・日時：2003年2月23日(日)
- ・時間：午後2時半より
- ・場所：於東京 - 代々木

なお、総会開催の詳細に関して会員の皆様には別紙にてご案内をしますが、総会の事業報告は当報告書(除く第四年度決算報告)の配付を以ってこれに替えます。

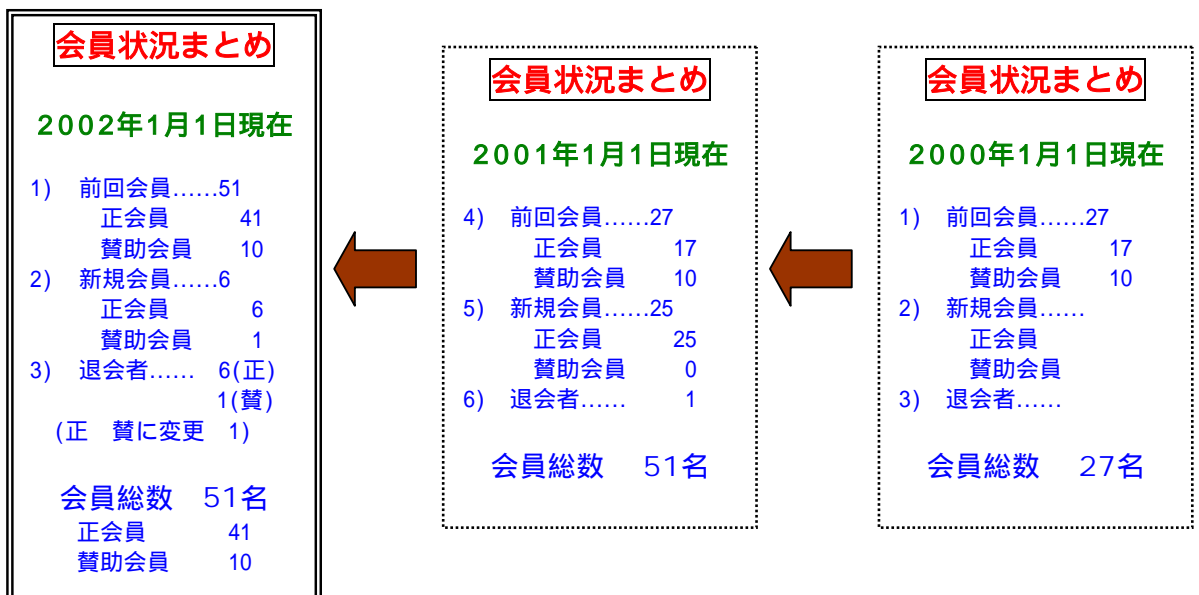
1) 第四年度 - 協会活動の総括報告

(1) 事業活動の全般について

第四年度、2002年には従来の各支部活動(障害者や子供、シニアを対象とするテニス)に加え、前々年に新事業として始めた「ラケットリサイクル」をさらに強化・拡充しています。この活動には一般のテニス愛好家の方々が中古ラケットの提供を通じて、或は無償でのガット張りというご支援を頂いたストリンガーの皆さん、さらにはガットの無償提供というご厚意を頂いた企業を含め、多くの皆さんがボランティアとして活動に参加、協力されました。他方、ラケット寄贈先となった全国の中学、高校からは感謝状が多く寄せられるなど、三年目を迎えた事業としては確かな実績を残すことができました。新企画、テニスの「レーティング事業」は管理システムのパソコン用ソフトが検討されました。これらの実績を踏まえ、来年度も一層活動を

活発にしていきます。一方、協会組織の強化では全国的展開をある程度実現した前年度と同じ状況であり、会員数については残念ながら退会者もあり、前年度に比べ増減なしです。また、広報活動では当初計画の定期ニュースレターの発刊は実現できませんでした。外部発信 - ホームページでは、内容に若干の改善が見られたものの不十分な結果に終わっており、次年度は一層の改善が必要です。そして、国際交流事業では具体的な成果は残せませんでした。なお、従来からの事業活動では概ね前年度と同じ活動が実施され、主な共催大会として、関東車いすテニス協会、関東障害者テニス協会の二団体との共催による行事を実施しました。前述の通り、新たに導入された認定NPO法人制度の10月1日の発効に伴い、協会は直ちに申請を行い、2001年12月6日付にて、国税庁長官から正式な認定通知を受領しました。認定の第一号です。

(2) 正会員数の推移及び支援団体・個人(賛助会員、寄付金)について



支援団体(賛助会員、寄付金) 2001年度 (敬称略)

- ・ 賛助会員として支援頂いた団体、個人は次の通りです：
 アサヒビール、大塚製薬、協和発酵、スミスクラインピーチャム、イシイフーズ、NTTドコモ、味の素、全日空(以上、団体) 角谷秀和、高井善憲、丸尾充(以上、個人)
- ・ 寄付金品により支援頂いた団体は次の通りです：
 大塚製薬、ヨネックススポーツ振興財団、資生堂

(3) 主な事業活動について

A. 協会活動を支える従来的な事業

別表-1の通り、昨年と同様に全国各地で様々な活動が行われました。これら活動の中には協会が共催・協賛・後援したテニス大会が含まれます。主なテニス大会としては、車いすテニスでは「第14回関東車いすテニス有明大会」(関東車いすテニス協会)、障害者テニスでは「第12回コスモスカップ」、「第9回みどりの日テニス大会」、「第7回善福寺ニューミックス大会」(関東障害者テニス協会)などを行って

ます。また、その他支部、具体的には九州ではシニア大会の応援、群馬ではテニス指導者の講習会、福井ではジュニア教室の開催、葛飾ではジュニア・シニアの早朝テニス、広島では親子のテニス教室など各地域に密着したテニス大会やテニス指導教室などが行われています。こうしたボランティア活動を通じて、障害者、子供、シニア、一般などの広い範囲でのテニス愛好家を対象に「テニス」の普及を図り、「国民の健やかな生活と心身の発達」に寄与する社会への貢献を今年も協会は行っています。

B. 四年目を迎えた事業： テニスラケットのリサイクル運動

テニスラケットのリサイクル事業は3年間の実績を受けて、さらなる関係者の努力により順調な成果を上げています。また、(株)ゴーセン様からのストリングの提供は、このプログラムに参加したストリンガー会員の活躍と共に非常に大きな支援です。新しいストリングを張ったラケットの総本数は、310本に達しました。プログラムへの確かな手応えを今年も確認できましたが、こうした運動は十年続けて初めて成果が出る草の根運動であることを踏まえて、今後も継続的努力を積み重ねていきます。

1. 総数と内訳

学校関係(14校)	: 280本
身体障害者(車いす及び肢体不自由者)関係	: 30本
計	310本

2. ストリングを提供頂いた株式会社ゴーセンのご協力

ストリングの提供を頂いた株式会社ゴーセンのご協力とストリンガー会員の活躍のお陰で、今年は新たに養護学校、児童養護学校への送付ができました。また、モンゴルよりインターネットを通じてラケットの依頼が届きました。ストリングの張替えをしつつ、送付の準備中です。

3. 反響について(原稿の一部を要約)

学校から、下記の感謝状が協会宛に寄せられました。この運動の大切さと一層の充実を図っていきます。

○テニスラケットの件感動いたしました。修学旅行前の体育の授業でもテニスの話題で持ちきりでした。一緒に担当して下さる先生方もとても張り切っています。必ず生徒達にテニスの楽しさを伝えられるような授業にしたいと思っています。苦悩していたラケット集めに関して、多大なご協力頂き本当に有難うございました。

大阪教育大学教育学部附属養護学校
北野洋子

○今年4月に創部して以来、部員数が56名に増え、指導者一人での限界を感じている毎日です。テニスに対する子供達の情熱を受け止めながら、糧多き毎日を過ごさせて頂いております。お預かり頂いたラケットに関しましては、本校の体育で使わせて頂きたいと考えております。皆様のご活動のもとから、テニスに出会い、テニスを通じて育っていく子供達がいることに喜びと深い敬意を表させていただきます。

清教学園中・高等学校男子テニス部顧問
木村 政雄

○女子テニス部顧問の杉本です。残りのラケット11本が届きました。大切に、テニスの普及に努めたいと思います。

福井県立勝山高等学校

○希望しておりましたラケット40本を受け取りました。ありがとうございました。

11月になり、早く暗くなるようになり、クラブ活動の時間が十分にはとれなくなってきましたが、ラケットを活用させていただいて、部員一同頑張っています。大変お世話になりました。

広島県立広島皆実高等学校
奥野 清一郎

2) 第5年度(2003年)の事業計画について

今年度の事業計画は別表-2に示す通りですが、認定NPO法人として、従来以上に事業活動と広報活動の強化、そして地域社会との関わり合いなどを工夫していきます。そのために、下記点については会員皆様のご理解とご支援を改めてお願いするものです。

(1) 会員の拡大、ホームページ活用と広報

第4年度の会員数は残念ながら新規入会者があったものの、同数の退会者があり、結果的には前年度と同じ会員数に留まりました。会員の拡大は協会活動の基本となるものであり、ボランティアという市民運動の土台であり、一般会員の皆様と共に支部責任者を軸にして、会員募集をさらに図りたいと思います。そのために、協会活動を分かりやすく紹介すると共に、魅力のある事業の企画とその実施を試みます。ホームページの積極活用は勿論、本部としての外部発信(一般メディア・新聞・テレビ等)へ向けた効果ある広報の展開も試みたいと思います。各会員の方々には、知人・友人への会員募集への努力をこの機会にお願いしたいと思います。資料についてはホームページをご参照頂くか、或は事務局にお問い合わせ下さい。

(2) 各支部事業と新たな事業の企画について

協会の事業活動は、各支部での地域に密着した従来的な活動をさらに充実することですが、この活動を支えるのは健全な財政基盤(資金確保)です。協会としては新しい事業としてテニスの「レイティング事業」を行うことを検討中です。詳細については具体化の目処がついた時点でホームページ等を通じてご案内する予定ですが、テニスを一層楽しくする活動を支援しつつ、同時に協会の基盤作りに役立てたいと考えています。(注：当協会は「利益」目的とする所謂、収益事業は行いませんが、協会活動に必要な資金確保を目的とする事業には制約ありません)

レイティングとは

テニスレイティングは、ゴルフの公認ハンディキャップと同様に、テニスプレーヤーのプレー能力を認定する制度で国際的にも通用するものです。従来、日本ではテニスの技術について一定の基準や尺度がなく、指導者の主観やプレーヤーのキャリアでクラス分けされており、Aのスクールでは中級だった人がBのスクールでは初級になるなど、様々な問題点がありました。レイティングは一定の教育を受け、日本テニス協会に認定されたレイティング査定員の査定を受けることにより取得できます。レイティング・チャートをチェックすることにより自分自身で進歩の度合いを判断することができます。(インターネットテニスジャパンサイトより)

(3) 認定NPO法人としての組織運営の強化

今回、国税庁からの正式な認定(期間は2002年～2003年の二年間)を受けて、協会では従来の組織運営、特に会計については専門家(土屋公認会計士事務所)からの指導を受けながら、本部と支部とが一体となり管理を強化します。具体的には既に各支部責任者には通知済みですが、一般の事業法人と同じ青色申告要件を満たす経理処理の手順の徹底を図ることになります。また、ホームページ等の広報活動を通じて、一層の情報公開をすることで、協会への一般的な理解を促進したいと考えています。

(4) 第4年度(2002年)の事業予算書

資料5)-(2)に示す通りですが、新しい年度の予算では、従来のものに比べて協会の事業活動を支える資金は、一般の皆様からのより多い寄付金を基盤にすることにあります。

以上

3) 資料

- (1) 第3年度(2001年) 事業活動表 - 別表-1
- (2) 第4年度(2002年) 事業計画表 - 別表-2
- (3) 決算報告及び予算(注:決算報告は時間の都合により、総会開催日迄に配布予定)
 - 第3年度(2001年1月~12月) 決算報告書 - 別表-3(添付なし)
 - 第4年度(2002年1月~12月) 予算計画書 - 別表-4
- (4) 会員名簿(正会員、賛助会員)
- (5) 国税庁長官からの認定NPO法人の正式認定書(写し)
- (6) その他